

平成29年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 入江 隆晴 	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす幸せ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所をめざすとともに、公共施設の再編を進め健全で効率的な財政運営を図ります。</p> <p>●基本方針 市民ニーズにこたえる市役所をめざして、全体の奉仕者としての自覚を持った市民に信頼される職員の育成に努めます。 また、遊休施設の有効活用や売却処分等、行財政改革を更に推進することで、安定的な行財政運営を行います。</p>	所管課	総務課・契約管財課・財政課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			32人	9人	41人
		一般会計	4,490,277 千円		
		特別会計	0 千円		
		計	4,490,277 千円		
		(うち人件費)	(246,006 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	職員の人材育成の推進 人材育成基本方針の見直しを検討するとともに、適正な研修計画を立案する。 メンタルヘルス対策を更に充実させストレスチェック制度の活用方法も検討する。	中期的な見通しを持った研修計画を作成します。 メンタルヘルス対応の手順や様式を作成することで、メンタル不調者に対する職員対応ができる体制を整えます。 ストレスチェック制度を活用し職場環境改善を検討します。	新採用職員については市職員による研修を実施し、その内一般事務職及び学芸員にエルダーを付けてOJTを実施しています。 庁舎内の年間研修計画を8月中旬までに策定し、現在は10月開催の「起案文書作成研修」を募集中です。	人材育成基本方針の見直しに係る職員アンケートを実施し、研修の受講要望等を聴取しました。 職員のストレスチェックを実施し、結果を1月末に配布しました。今後は、部署ごとの分析結果を安全衛生委員会に報告し、職場改善に努めます。	職員アンケートの結果等を基に人材育成基本方針の素案づくりを進めています。今後は「人材育成基本方針策定委員会」を設置し、策定を進めていきます。 メンタルヘルス対応の様式等を作成し対応しました。 また、職場の環境改善については引き続き検討していきます。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
2	職員採用方法等の見直し	今後の中長期的な職員採用計画を立案し、採用方法の見直しを行う。昇格制度についても見直しを検討する。	年度ごとの採用計画を見直し、中長期的な採用計画を立案します。昇任制度についても、昇任基準を見直し、試験方法を検討します。	専門職の採用については、事前に担当部からの情報を得ることにより適正数の採用に向けて事務を進めています。昇任制度については協議検討した結果、昨年度同様の課長補佐級の昇任試験を実施することとなり、11月に募集する予定です。	職員採用試験については、7月から一般事務職、保育士・幼稚園教諭、建築技術職等の試験を実施し、内定者を決定しました。今後は土木技術職と一般事務職（追加募集）の最終試験を2月に実施します。昇任試験については、課長補佐級への試験を12月に実施しました。	採用予定者の入庁前の不安や疑問等の払拭を目的として内定者交流会を実施しました。また、次年度の採用説明会を計画しました。次年度は、専門職の採用について、各部と意見調整しながら採用計画を早目に策定していきます。昇任試験については、課長補佐級を継続することとし、その他の級の昇任についても引き続き研究を続けていきます。
3	庁舎再編計画基本構想の策定	本庁舎、支所等の各施設の更新計画や将来的機能について検討し、基本構想を策定する。	内部の庁舎再編計画基本構想検討委員会を設置します。関係者との協議や調整を実施しながら、庁舎再編計画基本構想を策定します。	6月に第1回策定委員会開催、その後公募型プロポーザルにより8月に委託業者を決定しました。9月に市長を交えた意見交換会を実施した後、10月に第2回の策定委員会を実施し、短期的構想と中長期的構想を分けて検討することとなりました。	継続して基本構想を策定しています。3月には、パブリックコメントを実施する予定です。	3月に基本構想（案）を策定し公表し、パブリックコメントを実施しました。平成30年度は策定した構想をもとに短期構想の実現に向け事業を進めていきます。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
4	システムの最適化とコスト削減の検討及び情報セキュリティ強化の検討	システムの調査及び最適化の検討を行いコストの削減を図る。国の通達に基づきセキュリティの強化のためにL GWANとインターネット接続系の分離を実施する。	市全体のシステム調査を行い、維持管理コストの分析を行います。情報化委員会を設置し、情報リテラシーの向上、セキュリティポリシーの見直し、情報システム調達基準等の整備を行います。	7月にセキュリティ強化のためにL GWANとインターネット接続系の分離を実施しました。併せて岡山県セキュリティクラウドへの接続作業を完了しました。	セキュリティ強化作業は全て完了しました。庁内システムの元号改正に対応するためコスト調査を行い、来年度の発注に向け準備を進めています。	セキュリティ強化作業を全て完了しました。平成30年度からの情報化推進委員会の設置や元号改正の対応等について引き続き準備を進めます。
5	遊休施設及び遊休地の有効活用及び売却による歳入確保	遊休地について売却を進め歳入確保に努める。	遊休地について調査し売却を進めます。	遊休地についてリストアップを行いました。今後、売却の手続きのための不動産鑑定及び測量を実施します。	売却のための不動産鑑定及び測量手続きは完了済みです。手続きが来次第、売出す予定です。	予定していた3ヶ所の土地について、不動産鑑定及び測量手続きを完了できたので、次年度売り出す予定です。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	<p>行政改革プランの改定及び中期財政計画の策定による行政改革の推進</p> <p>行政改革指針に基づき、行政改革の具体的な取り組みとなる「行政改革プラン」を改定します。</p> <p>5月に第1回瀬戸内市行政改革推進委員会（以下「行革委員会」という。）を開催します。</p> <p>7月に第2回行革委員会を開催します。</p> <p>前2回の行革委員会での意見をもとに、行政改革プランを改訂します。</p> <p>事務事業の見直しを行い、中期財政計画を策定します。</p> <p>歳入・歳出両面において最大限の努力を行い、優先順位付けを的確に行いメリハリのある予算を編成することを目指します。</p> <p>市民が将来にわたって安心して暮らせるよう、引き続き健全な財政運営を確保するとともに、中期的財政見通しの改善を図ることを目指します。</p>	<p>8月に事前評価を行い、事務事業の見直しを行います。</p> <p>10月に事前評価をもとに中期財政計画を策定します。</p> <p>3月を目途に「行政改革プラン」を改定します。</p> <p>・行政改革プランによる削減目標額 平成29年度 183百万円</p> <p>・平成29年度決算目標値 実質公債費比率:18%未満 基金残高（財政調整基金・減債基金）：40億円</p>	<p>8月に全課室の事前評価及び事務事業シートのヒアリングを実施しました。</p> <p>9月には、市長ヒアリングを実施し、10月の中期財政計画の策定に向け作成中です。</p>	<p>平成28年度末基金残高(財政調整基金・減債基金)56.0億円</p> <p>平成29年度決算目標値 基金残高見込み(財政調整基金・減債基金) 49.8億円</p> <p>10月に中期財政計画を策定し、ホームページにおいて公表しました。</p>	<p>平成30年2月2日に3回目の行政改革推進委員会を開催し、瀬戸内市行政改革プラン改訂版を作成しました。</p> <p>3月にホームページにおいて公表しました。</p> <p>・行政改革プラン改訂版における効果目標額 平成30年度 427,262千円 平成31年度 637,261千円</p> <p>・平成29年度決算見込値 実質公債費比率 ：10.4% 基金残高(財政調整基金・減債基金)：49億円</p>